

# 「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

## 消防団のガバナンス強化事業

自治体名

西粟倉村

消防団名

西粟倉村消防団

### 1 事業の目的・必要性

団員数はIターン者の増加により一時的に微増したが団員数減少という傾向には変わりはない。特に経験が豊富な団員の定年による減少が深刻である。加えて、勤め先が村外である団員も多く、有事の際に参集できる団員が限られているうえに経験の浅い団員の割合が増加している状況にある。消防団に課せられている迅速な初期消火対応や災害時の人命救助・避難誘導の迅速な対応・指揮のために、出勤状況を班内・部内・団内で容易に把握できるデジタル技術を活用し、迅速な部隊編成および適切な対応指示に資する。

### 2 事業内容

セキュリティの担保された専用アプリを消防団員のスマートフォン等に導入する。消防団員に対する出勤指令のほか、事務連絡、勤務記録の提出等をシステムに一元化し、正確な活動実態を把握する。これにより適正な報酬算定を実現する。

また、情報の迅速な共有・一元化により団員間の行き違いを無くし最新状況の把握も可能とすることで効率的な対応を実現させる。

1. アプリの導入
2. アプリを活用した部隊編成訓練（放水訓練と同時実施）
3. 訓練での出勤記録により報酬計算

### 3 事業成果

アプリ活用による活動の効率化の一遍は垣間見れたものの、アプリの仕様が現状に即しておらず、早急な対応を求めた。特に、出勤動態管理においては、本アプリの基幹部分ともいえるが、団員の情報が紐づけされておらず階層毎に異なっていることから班所属のアカウントで応答した情報が部所属のアカウントでは応答されていない＝部所属のアカウントで再度応答が必要といった実務的でない仕様となっていた。本事業において実証を試みた「出勤応答状況を鑑みた部隊編成」はこの状態では不可能であり、また、団員のアプリへの信用も得られることもなく従前のやり方に頼らざるを得ない状況となった。現状では臨んだ効果は得られないどころか手間が増えてしまうことから連携先・開発元に対して強く改善を要望した。

また、併せて車両点検項目や水利情報等の基礎項目についての設定情報を提出しているものの、設定および設定調整が完了しないため本年度・本事業内においてはアプリの実証をすることが出来なかった。

以上のように、十分な対応が得られなかったことから本事業内にて有用な効果を示すことは出来なかった。

一方で、改善されれば効果的に機能するものであることは明らかであり、引き続き改善を要求するとともに活用を進めていく方針である。

状況を鑑み、研修会およびアンケートは未実施とした。

### 4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
アプリの導入	件数(人数)	118件(人)	99件(人)	・109人(うち99人) R06.01.01現在
研修の実施	実施回数	1回	0回	
アプリを活用した連携訓練の実施	実施回数	1回	1回	・出勤状況・被災状況等を共有している状態での部隊編成・指示伝達を行いスムーズな消防活動の訓練
改善検討会議の実施	実施回数	1回	0回	

### 5 その他参考情報

--

